

かがわ情報化推進協議会 勉強会 (ワークショップ) を開催します

【テーマ】 オープンデータ実践ワークショップ

【概要】 昨今のAI、IoTといった技術動向により、私たちの暮らしでは多種多様なデータの蓄積と活用が進んでいます。一方、公共オープンデータとその民間活用を推進する流れが、官民データ活用推進基本法の策定などを通じ、国の指針として示されています。このことから、データを自社の課題解決や事業創出に利活用していく動きが今後いっそう加速していくと考えられます。

本講座は、公共系のオープンデータを使い、ビジネス現場においてよく使われる6つのデータ分析手法を演習形式で学びます。内容はデータ分析手法の基本的スキルを習得し、日々の業務に役立てることを目指すものです。職種や専門的スキルを問わずご受講頂けます。

- 1 日時 平成30年 2月 8日 (木) 13時～18時
◎ ワークショップ (13時～17時) *12時30分開場
◎ 情報交流会 (17時～18時)

- 2 会場 情報通信交流館 (e-とぴあ・かがわ)
◎ ワークショップ (4階 クラスルームA)
◎ 情報交流会 (5階 スタジオサロン)
高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー

- 3 講師 株式会社イミカ (元株式会社富士通研究所)
原田 博一 氏

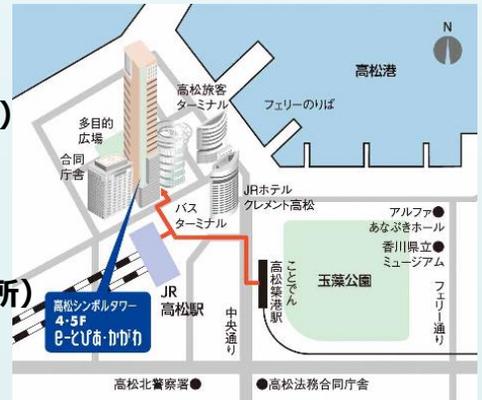
- 4 主催 かがわ情報化推進協議会

- 5 共催 情報通信交流館 (e-とぴあ・かがわ)

- 6 定員 20名 (先着順)

- 7 その他 参加費：無料

- 8 申込み 参加をお申込の方は、平成30年1月31日(水)までに「貴社(団体)名・所属・氏名・連絡先電話番号・E-mail・交流会参加の有無」を記入の上、メール又はFAXでお送り下さい。



【宛先】 かがわ情報化推進協議会 (事務局：香川県情報政策課内)

【お申込み】 メール：webmaster@kagawa-net.org

FAX：087-834-1542

【お問合せ】 電話：087-832-3140

プログラム

1 イン트로ダクション

データサイエンス概要（昨年度開催講座の簡単な振り返り）

2 データ分析手法

クロス集計、クラスター分析、ロジスティック回帰分析、線形回帰分析
決定木分析、バスケット分析

3 振り返りワークショップ

業務活用について検討し小グループで共有

ビジネス課題の解決に役立つ主なデータ分析手法

1 クロス集計

2～3変数を同時に集計し相互関係を見出す

2 クラスタ分析

対象の中から似た性質を持つ集団を作る

3 ロジスティック回帰分析

質的変数の発生確率を予測する

4 線形回帰分析

量的変数の傾向を見出す

5 決定木分析

目的変数に影響を与える説明変数を見出す

6 バスケット分析

複数の事象の関連性を見出す

※ワークショップ終了後に、講師を交えて軽食立食での情報交流会を開催いたします。（参加希望者）